

科目名	クリエイションテクニックⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	300	作成者	友廣麻紀

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に必要な洋服の構造を理解することは不可欠である。企画を立てるにあたって必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	シャツパターン	1・2・3	商品企画作品1
3・4・5	シャツパターン	4・5	ラグランスリーブのコートの縫製
6・7	シャツワール	6・7・8	商品企画作品1
8・9・10	シャツ縫製	9・10	ラグランスリーブのコートの縫製
11・12	SKパターン	11・12・13	商品企画作品1
13・14・15	シャツ縫製・完成	14・15	ラグランスリーブのコートの縫製
16・17	SKトワール	16・17・18	商品企画作品2
18・19・20	カットソー概論	19・20	ラグランスリーブのコートの縫製
21・22	パンツの製図、裁断	21・22・23	商品企画作品 2
23・24・25	カットソーパターン・縫製準備	24・25	ラグランスリーブのコートの縫製
26・27	パンツの縫製	26・27・28	商品企画作品2
28・29・30	カットソーパターン・縫製	29・30	ラグランスリーブのコートの縫製
31・32・33	SkorPT(各自)	31・32・33	商品企画作品3
34・35	SkorPT(各自)	34・35	ラグランスリーブのコートの縫製
36・37・38	デニム素材概論	36・37・38	商品企画作品3
39・40	ショールカラーのジャケットの製図(裏無し箱)	39・40	テーラードジャケットの裁断
41・42・43	デニム縫製	41・42・43	商品企画作品3
44・45	ショールカラーのジャケットの縫製	44・45	テーラードジャケットの裁断
46・47・48	デニム縫製	46・47・48	商品企画作品3
49・50	ショールカラーのジャケットの縫製	49・50	テーラードジャケットの縫製
51・52・53	デニム縫製	51・52・53	商品企画作品4
54・55	部分縫い 薄物始末	54・55	テーラードジャケットの縫製
56・57・58	デニム縫製	56・57・58	商品企画作品4
59・60	部分縫い 薄物始末	59・60	テーラードジャケットの縫製
61・62・63	デニム縫製	61・62・63	商品企画作品4
64・65	部分縫い 箱ポケット(アウター)	64・65	テーラードジャケットの縫製
66・67・68	デニム縫製	66・67・68	商品企画作品4
69・70	部分縫い 雨蓋ポケット	69・70	テーラードジャケットの縫製
71・72・73	デニム縫製	71・72・73	まとめ
74・75	まとめ	74・75	まとめ

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)

指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

『スカート』『パンツ』『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版

・教員作成のオリジナルプリント『ラグランスリーブのコート』

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式

科目名	クリエイションデザイン論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	180	作成者	山田 浩之

【科目の到達目標】

商品をコレクションで企画出来る。

【科目の概要】

商品を分析し、企画提案が出来る。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1 2	デザインの指向と服の研究方法について	31 32 上田学園コレクション企画1
3 4	シャツ企画1(歴史)	33 34 上田学園コレクション企画2
5 6	シャツ企画2(ディテール)	35 36 上田学園コレクション企画3
7 8	シャツ企画3(素材と縫製)	37 38 上田学園コレクション企画4
9 10	シャツ企画4(デザイン)	39 40 上田学園コレクション企画5
11 12	スカート企画1(歴史とディテール)	41 42 コート2020SSトレンド分析① トレンドキーワード I
13 14	スカート企画2(素材とパターン)	43 44 コート2020SSトレンド分析① トレンドキーワード I
15 16	パンツ企画1(歴史とディテール)	45 46 2019/20AWトレンド分析③ ランウェイ注目アイテム
17 18	パンツ企画2(流行とシルエット)	47 48 2019/20AWトレンド分析③ カラー、モチーフ、ディテール
19 20	デニム企業コラボレーション企画1	49 50 2019/20AWトレンド分析③シルエット、素材
21 22	デニム企業コラボレーション企画2	51 52 ジャケットファッションニュース分析2 ファッション業界分析 I
23 24	デニム企業コラボレーション企画3	53 54 ジャケットファッションニュース分析2 ファッション業界分析 I
25 26	キッズ企業コラボレーション企画1	55 56 ファッションニュース分析1 2021SS分析
27 28	キッズ企業コラボレーション企画2	57 58 ファッションニュース分析2 2021SSコレクション分析
29 30	前期末テスト	59 60 後期末テスト

【成績評価方法】

課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

【教科書・参考書】

『Portfolio』文化出版 吉田康成 『ファッションデザインベーシック』BNN Richard Sorger & Jenny Udale 『ファッションデザインアーカイブ』株グラフィック社 高村是州 『ファッションデザインアイデアノート』グラフィック社 渡辺 直樹 ファッション週刊誌WWDジャパン『Fashion Design Resource』PNN新社 Robert Leach

【教材・教具】

配布プリント 筆記用具 ハンガーイラストが描ける用具 電卓 画材

科目名	クリエイションパターン I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスタースコース		昼間
学年	2	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	友廣麻紀

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	台襟付きシャツ・構造	1.2 パターンメイキング概論
2	台襟付きシャツ・仕様書	身頃の展開カット無し+1枚袖 半身トワール組み
3	スラックス原型・パンツスローパー	3・4 身頃の展開カット有り+1枚袖 半身トワール組み
4	スリムパンツ・ハイウエストパンツなど	5・6 レディスブラウス
5	脇ポケット作成	7・8 トワール組、工業パターン作成
6	自分サイズのスラックスパターン作成	9・10 ジャケット原型・テーラードジャケット・一枚袖
7・8	自分サイズのスラックスパターン作成	11 二枚袖・一枚袖⇒二枚袖
9・10	ブレタシャツ作成	12 トワール組み立て準備
11	ブレタシャツ作成	13 ジャケット原型・テーラードジャケット・一枚袖
12	ブレタシャツ作成	14 二枚袖・一枚袖⇒二枚袖
13	デニムパターン	15 トワール組み立て準備
14	デニムパターン	16 トワール組
15	デニムパターン	17 工業用パターン作成
16	デニムパターン	18 工業パターン作成（見返し、表襟展開）
17	襟のバリエーション シャツ・台襟シャツ	19 テーラードジャケット（ドレーピング）
18	襟のバリエーション ステン・リビア	20 トワール組み
19	Tシャツ	21 テーラード(マニプレ)ジャケット（ドレーピング）
20・21	カットソーデザイン	22 トワール組み
22	ビスチェ 製図、パーツパターン組み立て	23 テーラード(ショールカラー)ジャケット(ドレーピング)
23・24	ドレーピング スカート	24 トワール組み
25	マチ3種	25 創作テーラードジャケット テスト
26	マチ3種	26 デザイン・トワール組
27	パーツパターン抽出テスト	27 トワール組
28	パーツパターン抽出テスト	28 トワール組
29	提出	29 提出
30	まとめ	30 まとめ

【成績評価方法】

課題の評価60%
 期末試験の評価30%
 授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

江副玲子『パターンメイキング』最新版
 配布プリント

【教材・教具】

製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
 トワール、シルクピン、ミシン用具

科目名	クリエイションドローイング I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ヌードボディの表現		1 アイテム画の表現1
2	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現		2 アイテム画の表現2
3	着装表現 1(男性的ディテール表現)		3 アイテム画の表現3
4	着装表現 2(女性的ディテール表現)		4 メンズファッションの表現1
5	着装表現 3(その他の応用表現)		5 メンズファッションの表現2
6	画材表現 1(ガッシュの使い方)		6 メンズファッションの表現3
7	画材表現 2(マーカーの使い方)		7 クツ・バック・帽子の表現1
8	画材表現 3(パステルの使い方)		8 クツ・バック・帽子の表現2
9	アイテム画の表現 1(ボトムス)		9 クツ・バック・帽子の表現3
10	アイテム画の表現 2(トップス)		10 画材表現 1(ガッシュの使い方)
11	メンズ表現		11 画材表現 2(マーカーの使い方)
12	キッズ表現		12 画材表現 3(パステルの使い方)
13	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)		13 早描き1
14	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)		14 早描き2
15	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)		15 まとめ

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターマスターコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【授業概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、
 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 布地まとめ
- 7 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 8 天然繊維(動物繊維)
- 9 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 10 化学繊維(合成繊維)
- 11 ■素材の機能性
- 12 ■生地加工 染色・プリント・仕上げ
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10%，理解力50% (小テスト10%,総合テスト40%)，提出物40%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年
 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	杉本晋一

【科目の到達目標】

時代によって変遷する服飾デザインと人間の志向してきたイメージを理解する。
また、その時代背景や美術・建築・風俗などの文化状況との関連性から文化装置としてのファッションの意義と役割を考察で知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。
また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。

【授業計画】 90分/コマ

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 服飾史概論1 |
| 2 | 服飾史概論2 |
| 3 | 服飾の始原
原始の服飾 |
| 4 | 古代エジプトの服飾
古代ギリシア・ローマの服飾 |
| 5 | ゲルマン民族の服飾
中世・中世末期の服飾
演習 |
| 6 | ルネッサンス(イタリア・ドイツ)の服飾 |
| 7 | ルネッサンス(スペイン・英仏)の服飾
演習 |
| 8 | バロックの服飾 |
| 9 | ロココの服飾 |
| 10 | フランス革命の服飾
演習 |
| 11 | ロマンチック時代の服飾 |
| 12 | 19世紀後半から20世紀初頭の服飾 |
| 13 | デザイナーの登場
シャネルとスキヤパレリ |
| 14 | テスト |
| 15 | 戦後から現代の服飾 |

【成績評価方法】

平常点 20% 課題20% 期末試験 60%

【教科書・参考書】

小西松茂『西洋服飾史』服飾手帖社 昭和50年,

【教材・教具】

筆記用具

科目名	PC演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	マスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	林

【科目の到達目標】

Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使し実習で制作した作品のポートフォリオが作成できる。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。情報収集・分析から役立つものを見つけ価値を明確にし、その狙いや技術的な詳細などに触れながら、デザイン制作の楽しさや気づかなかった感情・ノウハウを解き明かす。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	PC演習・ポートフォリオ概論	31・32 ジャケットポートフォリオ制作①
2	illustrator基礎	33・34 ジャケットポートフォリオ制作②
3・4	Photoshop基礎	35・36 ジャケットポートフォリオ制作③
5・6	illustrator×Photoshop	37・38 ジャケットポートフォリオ制作完成
7・8	プレタシャツポートフォリオ制作①	39・40 コートポートフォリオ制作①
9・10	プレタシャツポートフォリオ制作②	41・42 コートポートフォリオ制作②
11・12	プレタシャツポートフォリオ制作③	43・44 コートポートフォリオ制作③
13・14	写真撮影	45・46 コートポートフォリオ制作完成
15・16	プレタシャツポートフォリオ完成	47・48 革コート・ジャケットポートフォリオ制作①
17・18	デニムポートフォリオ制作①	49・50 革コート・ジャケットポートフォリオ制作②
19・20	デニムポートフォリオ制作②	51・52 革コート・ジャケットポートフォリオ制作③
21・22	デニムポートフォリオ制作完成	53・54 革コート・ジャケットポートフォリオ制作完成
23・24	パイルポートフォリオ制作①	55・56 年間ポートフォリオまとめ①
25・26	パイルポートフォリオ制作②	57・58 年間ポートフォリオまとめ②
27・28	パイルポートフォリオ制作完成	59・60 テスト
29・30	テスト	

【成績評価方法】

課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

ギャヴィン・アンブローズ＋ポール・ハリス『フォーマット』『レイアウト』
『ポートフォリオ・クリエイション』『クリエイターをめざす人のための、人の心を動かす三ツ星ポートフォリオの企画「虎の巻」』

【教材・教具】

パソコン USBメモリー WWD

科目名	ファッションビジネス論 II	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターマスターズ コース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	秦野 知邦

【科目の到達目標】

- ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。
- ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。
- ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。

【科目の概要】

ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える
 アパレル業界のしくみの本質を理解し、今の時代にあったビジネス感を養う
 最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 ファッションの魅力とファッションビジネスの現状についての講義
即戦力⇒企業が求める人材とは
- 2 変わりつつある世界のコレクションとプロモーションについての講義
See now buy now・ファーフリー宣言についてなど
- 3 グローバルSPAブランドとラグジュアリーブランドビジネスを比較する
LVMH・ケリングとZARA・H&Mについてなど
- 4 セレクト系SPAとメーカー系SPAを比較する
商社の役割と力について
- 5 就活用のショップリサーチ資料を作成する
ショップリサーチのチェックポイントについて
- 6 就活用のショップリサーチ資料を作成するためのリサーチを実施する
リアル店舗で今を感じる→新たな発見・気づき
- 7 就活用のショップリサーチ資料を基にグループミーティング
ショップリサーチの資料作成のポイントについて
- 8 ショップリサーチ資料に基づくプレゼンテーションを実施
オリジナルな提案を踏まえた資料をパッションをもって伝える
- 9 ファッションビジネストレンドについての講義
第4次産業革命とファッションについてなど
- 10 ファッションビジネストレンドについての講義
SNSなどのプロモーションとファッションビジネスについてなど
- 11 これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義
世界のクリエイティブディレクターの世界観から考える
- 12 ファッションビジネストレンドの展望と課題についての講義
南青山・表参道・銀座の市場動向から考える
- 13 即戦力として知っておきたい計数についての講義
損益分岐点など
- 14 まとめと取引と取引条件についての講義
バイヤーの仕事内容と資質についてなど
- 15 期末テスト
筆記試験

【成績評価方法】

- ・ 授業における評価 40%
- ・ プレゼンテーション 20%
- ・ 期末試験 40%

【教科書・参考書】

日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント

【教材・教具】

ノート ・ 筆記用具

科目名	染色	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	30	作成者	藤 直晴

【科目の到達目標】

染色技法基礎の修得。デザインの感性を高め作業を計画的に進めて行く能力を養う。
染料と繊維の関係を学ぶ。
色彩感覚を養い染色のおもしろさを知る。

【科目の概要】

アナログ的な手作りを基本とした制作実習。シルクスクリーン、絞り染め、ステンシルなどの技法を使ってTシャツ、トートバッグ、ハンカチ、革素材、生地素材などを染めながら染色技法を修得していきます。

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 染色概論 染色器材、備品の説明。
- 3・4 絞り染め。 縄などで縛り浸染め。 参考書から色々な縛り方の方法を修得。
- 5・6 絞り染め。 絞り方の変化によるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 7・8 シルクスクリーン。 繊細なデザイン原稿を制作し、革、布の素材を創造する。
- 9・10 シルクスクリーン。 繊細なデザイン原稿を制作し、革、布の素材を創造する。
- 11・12 ステンシル。 ペーパーワークで描いた下絵がステンシルの特徴を表現出来るかどうかの考察。
- 13・14 ステンシル。 カッティングの持つチャープな動きの表現方法。

【成績評価方法】

提出課題の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『染色の基礎知識』 染織と生活社発行

【教材・教具】

各種染料。 刷毛、筆、伸子、張り木、ステンレスタンク、蒸し器等の染色用具。
ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器